

呼吸器外科術後痛に対する早期疼痛治療介入の実態調査

京都府立医科大学疼痛・緩和ケア科では、当院で全身麻酔下に呼吸器外科手術を受けた患者さんを対象に、治療内容に関する臨床研究を実施しております。実施にあたり京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

手術部位の組織損傷が治癒した後も創部に痛みが持続する病態を術後慢性痛と呼びます。胸部外科手術後の慢性痛は開胸術後疼痛症候群(Post thoracic pain syndrome, PTPS)と総称され、海外の疫学研究では約30%の方に生じるとされています。術後急性痛が強い患者さんでは痛みが慢性化しやすいため、早期から専門的な疼痛治療を行うことが重要です。この状況をふまえ、当院では、呼吸器外科術後患者に対する疼痛・緩和ケア科による早期疼痛治療を開始しています。本研究では、疼痛・緩和ケア科による早期疼痛治療介入とその治療効果の実態を明らかにします。

研究の方法

・対象となる方について

2019年1月1日から2022年3月31日までの間に、京都府立医科大学附属病院で呼吸器外科手術を受けた肺悪性腫瘍患者さんで術後1週間以内に疼痛・緩和ケア科が介入開始した患者さんを対象とします。

・**研究期間**：医学倫理審査委員会承認後から2023年3月31日まで。

・**方法**：当院で全身麻酔下に手術を受けた患者さんを対象に、診療録（カルテ）とDPCデータより以下の情報を取得します。年度ごとに入院患者数や入院期間、対象疾患などを集計します。

・研究に用いる情報について

情報：カルテ番号、生年月日、イニシャル、対象疾患、術式、入院期間、退院時の状態、術後痛の強さ、用いられた鎮痛薬とその投与期間 等

・個人情報の取り扱いについて

患者さんのカルテ情報をこの研究に使用する際は、氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し研究用の番号を付けて取り扱います。患者さんと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、入室が管理されており、第三者が立ち入ることができません。また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、患者さんが特定できる情報を使用することはありません。なお、この研究で得られた情報は研究責任者（京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学

教室 天谷文昌) の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

・情報の保存および二次利用について

カルテから抽出した情報は原則としてこの研究のために使用し、結果を発表したあとは、京都府立医科大学疼痛・緩和医療学教室において教授・天谷文昌の下、10年間保存させていただきます。研究用の番号等を削除し、廃棄します。

研究組織

研究責任者：

京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学教室 教授 天谷文昌

研究担当者：

京都府立医科大学	疼痛・緩和医療学教室	大学院生	<u>大屋里奈</u>
京都府立医科大学	疼痛・緩和医療学教室	大学院生	<u>平川由佳</u>
京都府立医科大学	疼痛・緩和医療学教室	大学院生	<u>前田知香</u>
京都府立医科大学	麻酔科学教室	准教授	上野博司
京都府立医科大学	疼痛・緩和医療学教室	講師	小川 覚
京都府立医科大学	疼痛・緩和医療学教室	助教	<u>早瀬一馬</u>
京都府立医科大学	疼痛・緩和医療学教室	病院助教	谷口彩乃
京都府立医科大学	疼痛・緩和医療学教室	病院助教	<u>藤原恵</u>
京都府立医科大学	疼痛・緩和医療学教室	病院助教	仲宗根ありさ
京都府立医科大学	疼痛・緩和医療学教室	病院助教	永井義浩
<u>京都府立医科大学</u>	<u>疼痛・緩和医療学教室</u>	病院助教	<u>丹波和奈</u>
<u>京都府立医科大学</u>	<u>疼痛・緩和医療学教室</u>	病院助教	<u>越田晶子</u>
京都府立医科大学	呼吸器外科学教室	教授	井上匡美
京都府立医科大学	呼吸器外科学教室	講師	下村雅律
京都府立医科大学	呼吸器外科学教室	助教	岡田 悟
<u>京都府立医科大学</u>	<u>呼吸器外科学教室</u>	助教	<u>石原駿太</u>
<u>京都府立医科大学</u>	<u>呼吸器外科学教室</u>	大学院生	<u>池部智之</u>

お問い合わせ先

患者さんのご希望があれば参加して下さった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができますので、希望される場合はお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2023年3月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

京都府立医科大学疼痛・緩和医療学教室 教授・天谷文昌 電話：075-251-5177